

重点5か国への調査実施状況について

2021年1月21日
株式会社富士通総研

1. 調査の概要

■ 目的

- 重点5か国の関係者に対して、コールドチェーン物流の実態や規格の策定プロセス、認定・認証制度のほか、規格の普及に関する方針等をヒアリングし、効果的な普及戦略・アクションプランの策定を図る

重点5か国	
<input type="checkbox"/> インドネシア <input type="checkbox"/> マレーシア <input type="checkbox"/> フィリピン	<input type="checkbox"/> タイ <input type="checkbox"/> ベトナム

関係者
<input type="checkbox"/> 物流担当省 <input type="checkbox"/> 標準化団体 <input type="checkbox"/> 物流業界団体 等

■ ヒアリングの実施状況

- マレーシア(2020年12月18日)とフィリピン(2021年1月12日)に対して実施

	物流担当省	標準化団体	物流業界団体	その他
インドネシア	<input type="checkbox"/> 運輸省	<input type="checkbox"/> BSN	<input type="checkbox"/> コールドチェーン協会	—
マレーシア	<input type="checkbox"/> 運輸省	<input type="checkbox"/> スタンダードマレーシア	<input type="checkbox"/> 照会中	<input type="checkbox"/> University of Technology MARA
フィリピン	<input type="checkbox"/> 運輸省	<input type="checkbox"/> フィリピンスタンダード	<input type="checkbox"/> コールドチェーン協会	—
タイ	<input type="checkbox"/> 運輸省	<input type="checkbox"/> TISI	<input type="checkbox"/> 照会中	—
ベトナム	<input type="checkbox"/> 運輸省	<input type="checkbox"/> 科学技術省 <input type="checkbox"/> STAMEQ	<input type="checkbox"/> 照会中	—

注: は、ヒアリング実施済を表す。

2. これまでのヒアリング結果のまとめ

■ マレーシア

- 規格の普及に関する方針
 - 交通分野のマスタープランで規格の普及を重要な課題として取り上げている
 - 運輸省が規格(案)を作成し、スタンダードマレーシアに提出して国家規格を策定したい
 - 規格は義務付け・任意があるが、義務付けを目指す
- 国家規格の策定プロセス
 - 策定のプロセスは6つに分かれて、12~18か月間程度かかる
 - 策定に関する技術委員会へは外国人専門家もオブザーブ参加が可能
- 認定・認証制度
 - 国立の認証機関であるマレーシア工業標準所(SIRIM)を中心とするか、新しい認証機関を整備するかを検討
 - イスラム開発局(JAKIM)がハラール食品の認定・認証制度を所管
- 国土交通省への要望
 - JSA-S1004の英語版の提供 **国交省提供済**
 - 認証機関や物流事業者等へのセミナーを開催したい

■ フィリピン

- コールドチェーン物流の普及に向けた取組
 - 政府:ロードマップ(PCCRM)
 - 冷蔵・冷凍倉庫の容量を毎年10~15%増加
 - 食品や医薬品や電気機械等が対象
 - 運輸省:コミュニティのための冷蔵・冷凍保管
 - 島しょ間の海上輸送の温度管理を重視
 - 港湾での冷蔵・冷凍倉庫の整備
 - 冷蔵・冷凍トラックの普及
- 規格の普及に関する方針
 - 規格はサービス水準を確保するために効果的
 - ただし、規格の種類については、PCCRMを主導している投資委員会(BOI)やフィリピンスタンダードへの相談が必要
- 国土交通省事業への協力
 - 国土交通省事業は歓迎
 - BOIや貿易産業省、フィリピンスタンダードの紹介は可能
 - コールドチェーン協会はBOIや貿易産業省、農業省から紹介